

児童の様子に応じた指導・支援シート 【小学校：授業編】



・児童の様子の傾向をつかむ・・・・P1～P2

・指導・支援方法について確認する・・P3～P4
・指導・支援の計画を立て、実践する・P5

・指導・支援の実践を省察する・・・・P6

市立

小学校

お名前

先生

1. 児童がどのような様子であるかを確認する。

①児童についてあてはまる数字に○をつけてください。

〈性別〉 1 男子 2 女子

〈学年〉 1 小学1年生 2 小学2年生
 3 小学3年生 4 小学4年生
 5 小学5年生 6 小学6年生

②その児童の様子について、「とてもあてはまる」～「全くあてはまらない」の5段階で数字に○をつけてください。

④右の白い欄に転記した縦の合計を書いてください。（P2に進み、各合計点にあてはめ計算します）

2. 児童がどのような様子であるかを整理する。

児童の様子	合計点	標準化得点を求める。(標準値を5と考えます)	標準化得点
他者配慮		(合計点 ÷ 17 - 2.6) ÷ 1.4 + 5	
理解表現		(合計点 ÷ 11 - 3.0) ÷ 1.3 + 5	
学習規律		(合計点 ÷ 9 - 3.4) ÷ 1.4 + 5	
自己制御		(合計点 ÷ 3 - 2.2) ÷ 1.4 + 5	

- ①P 1の合計点を写します。
 ②項目ごとに標準化得点を算出します。
 ③最後に小数第2位を四捨五入してください。

他者配慮

8

④得点をもとに点を打ちます。
 ⑤4つの点を結びます。

※黒の実線「5」は標準値です。それより数値が高いと課題が強い傾向と考えられます。

他者配慮

他者への配慮不足から
周りの人への迷惑をかける言動が課題

理解表現

やる気の有無に関わらず、理解や表現の面が課題

自己制御

理解表現

自己制御

感情のコントロールが
できず場に応じた言動
ができないことが課題

学習規律

授業への心構えが原因で、学習規律が乱れてい
ることが課題

3. 指導・支援方法について確認する。

指導・支援の内容	具体的な指導・支援内容の例	他者配慮	理解表現	学習規律	自己制御	全体
授業のルールを意識させる	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で授業のルールを確認する ・本人に授業のルールを理解させる ・授業のルールを掲示する ・授業のルールを本人と確かめ合う 				○	◇
本人と個別の約束事をする	<ul style="list-style-type: none"> ・分からなくなったら教師を呼ぶことにする ・困ったときは隣にきいてよいことにする ・私語をしたくなったら教師に教えることにする ・両手を2回叩いたら注目することにする 					◇
指示内容が理解できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板や紙板書で視覚的に示す ・活動リストを渡す ・指示をペアで確認させてから活動させる ・指示内容を理解したか本人に確認する ・指示は短く端的に話すようにする 					◇
本人に応じた学習活動を全体で行う	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が活躍できる活動を取り入れる ・質問などを確認する時間を設定する ・つまずきそうなところを全体で確認する ・少人数で教え合う活動を取り入れる 		○		○	◇
教材等を関心が高まるように工夫する	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の関心を考慮した資料を提示する ・意欲がわくような題材を用意する ・興味がもてるよう教具を工夫する ・単調にならないように工夫をする 					◇
本人に合った学習内容・活動に変える	<ul style="list-style-type: none"> ・問題数を減らす ・解けそうな問題に変える ・本人と相談し解く問題を決める ・板書を写すだけでもよいこととする 		○			◇
学習環境に配慮する	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物の量を制限する ・ついたてを用意する ・周りに座る子に配慮する ・目の届きやすい席にする 					◇
課題や問題が解決できるように道具によって支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒントカードや答えを渡す ・黒板の写真を撮って渡す ・教科書等を読むときに指差しをさせる 					
課題や問題が解決できるように言葉によって支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導の際に解き方などを教える ・補足説明したり、指示を繰り返したりする ・間違っているところと一緒に考える ・模範となる子を注目するように話す ・解けそうかどうか確認する 		○			◇

※1 児童の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある○は効果的、△は特に効果的であるとされる指導・支援となります。

※2 児童の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある△は、その様子の児童に効果が表れにくいとされているため、その指導・支援を行う場合には、慎重に行った方がよいとされる指導・支援です。

※3 全体の欄にある△は、小学生であればその子の様子に関わらず効果的だとされる指導・支援の内容となります。

※4 効果には個人差等があります。上記の表はあくまで参考資料として捉え、実態に応じた指導・支援を行ってください。

指導・支援の内容	具体的な指導・支援内容の例	他者配慮	理解表現	学習規律	自己制御	全体
本人の行動を褒める	<ul style="list-style-type: none"> ・できしたことや頑張ったことを褒める ・立ち歩かなかったことを褒める ・ノートをしっかり書いたことを褒める ・友だちの発言を認めたことを褒める 					◇
その場で 毅然とした態度で指導する	<ul style="list-style-type: none"> ・理由を話しながら厳しく注意する ・問題となる行動をやめるよう叱る ・みんなの前で厳しく指導する ・不適切な行動をやめるまで指導を続ける 	○				
その場で 諭すように指導する	<ul style="list-style-type: none"> ・やめる（取り組む）ように声をかける ・個別に話を聞きながら諭すように注意する ・理由を話しながら諭すように指導する ・正しい対応の仕方を丁寧に教える 	○	○			◇
別の場で指導する	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後に指導する ・別の場で指導する ・休み時間に別室で指導する ・事前に、正しい対処の仕方を練習させる ・後日、つまずいたところを個別に教える 	○	○			◇
言動が収まるまたは、 しっかり取り組む ことを待つ	<ul style="list-style-type: none"> ・そのままの状態で様子を見る ・私語などを聞き流す ・本人の言動に過剰に反応しない ・視線などでやめるように合図だけ送る ・相槌を打ちながら淡々と授業を進める 	○	△		○	
原因や理由を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・つまずきの傾向を考える ・行動の理由を尋ねる ・観察しながら原因を考える 					◇
他の子に支援や配慮を お願いする	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の子に教えてあげるよう頼む ・困っているときに助けてあげるよう頼む ・何かあったら教師に伝えるよう頼む ・グループ活動の際に配慮するよう頼む 		○			
他の子に注意をお願いする	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の子にだめなときは注意するよう頼む ・しっかり活動しないとき注意をお願いする ・グループ活動で問題があるときは注意させる 	○			△	
本人の判断を大切にする	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしたいか本人に判断を委ねる ・行動のセルフチェックをさせる ・どこまで頑張れるか目標を設定させる 				○	◇
他教員との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターに支援を求める ・スクールカウンセラーに支援を求める ・個別に指導・支援に入ってもらう 	○			○	◇

※1 児童の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある○は効果的、○は特に効果的であるとされる指導・支援となります。

※2 児童の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある△は、その様子の児童に効果が表れにくいとされているため、その指導・支援を行う場合には、慎重に行った方がよいとされる指導・支援です。

※3 全体の欄にある◇は、小学生であればその子の様子に関わらず効果的だとされる指導・支援の内容となります。

※4 効果には個人差等があります。上記の表はあくまで参考資料として捉え、実態に応じた指導・支援を行ってください。

4. 児童への指導・支援の計画を立て実践する。

【指導・支援の目標設定】 …シートP1、P2の児童の様子を参考に目標を設定する。

【指導・支援の計画】 …シートのP3、P4を参考に計画を立てる。

【指導・支援の実践】 …上記の計画をもとに指導・支援を実践し、実践内容を記録する。

5. 児童への指導・支援を評価し今後に活かす。

【指導・支援の評価・改善】…効果の有無や改善点などをまとめる。

生徒の様子に応じた指導・支援シート

【中学校：授業編】

実態把握

- ・生徒の様子の傾向をつかむ・・・・P1～P2

計画実践

- ・指導・支援方法について確認する・・P3～P4
- ・指導・支援の計画を立て、実践する・P5

省察

- ・指導・支援の実践を省察する・・・P6

市立

中学校

お名前

_____ 先生

1. 生徒がどのような様子であるかを確認する。

①生徒についてあてはまる数字に○をつけてください。

〈性別〉 1 男子 2 女子

〈学年〉 1 中学1年生
2 中学2年生
3 中学3年生

②その生徒の様子について、「とてもあてはまる」～「全くあてはまらない」の5段階で数字に○をつけてください。

全くあてはまらない
あまりあてはまらない
あてはまっている
とてもあてはまる
とてもあてはまらない

③○をつけた数字を下の白い欄に転記してください。

他者配慮 理解表現 学習規律 自己制御

1 学習用具を準備できない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
2 グループ活動でわがままな行動をする	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
3 自分の考えを文章に書くことができない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
4 友だちから注意や指摘を受けると反抗する	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
5 板書を意図的に写そようとしない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
6 教師にへ理屈を言う	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
7 学習の見通しをもつことができない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
8 学習活動を行おうとしない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
9 友だちに細かく注意や指摘をする	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
10 板書を写すことができない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
11 手や物をいじっている	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
12 分からないと文句を言う	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
13 教師に必要以上に話しかける	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
14 机の上を整理をしようとする	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
15 教師の発言の揚げ足をとる	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
16 友だちの発言の揚げ足をとる	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
17 簡単な問題を解くことができない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
18 友だちの学習の邪魔をする	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
19 教科書を声に出して読むことができない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
20 指示や説明を理解できない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
21 授業に関係なく大きな声を出したり、騒いだりする	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
22 すぐに人の答えを見ようとする	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
23 自分の考えをうまく話すことができない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
24 指示をすぐ忘れてしまう	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
25 教室を出でいく	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
26 間違ったりできなかつたりしたときパニックになる	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
27 友だちを巻き込んで関係のないことをする	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
28 課題や問題の意味をつかむことができない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
29 教師が自分に注目しないといじける	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
30 立ち歩く	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
31 ノートに落書きをする	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
32 自分の意見を押し通そうとする	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
33 活動や作業を行うことができない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
34 机の上の整理ができない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
35 友だちに嫌がらせをする	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
36 簡単な課題に取り組むことができない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
37 教師に注意や指摘を受けると反抗する	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
38 学習用具を準備しない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
39 教師や友だちが話しているのに、周りに話しかける	1 — 2 — 3 — 4 — 5			
40 既習事項を理解していない	1 — 2 — 3 — 4 — 5			

④右の白い欄に転記した縦の合計を書いてください。（P 2に進み、各合計点にあてはめ計算します）



2. 生徒がどのような様子であるかを整理する。

生徒の様子	合計点	標準化得点を求める。(標準値を5と考えます)	標準化得点
他者配慮		(合計点 ÷ 17 - 2.6) ÷ 1.4 + 5	
理解表現		(合計点 ÷ 11 - 3.2) ÷ 1.2 + 5	
学習規律		(合計点 ÷ 9 - 2.9) ÷ 1.3 + 5	
自己制御		(合計点 ÷ 3 - 1.8) ÷ 1.2 + 5	

- ①P 1の合計点を写します。
②項目ごとに標準化得点を算出します。
③最後に小数第2位を四捨五入してください。

他者配慮

8

④得点をもとに点を打ちます。

⑤4つの点を結びます。
※黒の実線「5」は標準値です。それより数値が高いと課題が強い傾向と考えられます。

他者配慮

他者への配慮不足から
周りの人への迷惑をか
ける言動が課題

理解表現

やる気の有無に関わら
ず、理解や表現の面が課
題

自己制御

0

理解表現

自己制御

感情のコントロールが
できず場に応じた言動
ができないことが課題

学習規律

授業への心構えが原
因で、学習規律が乱れてい
ることが課題

3. 指導・支援方法について確認する。

指導・支援の内容	具体的な指導・支援内容の例	他者配慮	理解表現	学習規律	自己制御	全体
授業のルールを意識させる	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で授業のルールを確認する ・本人に授業のルールを理解させる ・授業のルールを掲示する ・授業のルールを本人と確かめ合う 					◇
本人と個別の約束事をする	<ul style="list-style-type: none"> ・分からなくなったら教師を呼ぶことにする ・困ったときは隣にきいてよいことにする ・私語をしたくなったら教師に教えることにする ・両手を2回叩いたら注目することにする 			○		
指示内容が理解できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板や紙板書で視覚的に示す ・活動リストを渡す ・指示をペアで確認させてから活動させる ・指示内容を理解したか本人に確認する ・指示は短く端的に話すようにする 		△			◇
本人に応じた学習活動を全体で行う	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が活躍できる活動を取り入れる ・質問などを確認する時間を設定する ・つまずきそうなところを全体で確認する ・少人数で教え合う活動を取り入れる 	○		△		
教材等を関心が高まるように工夫する	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の関心を考慮した資料を提示する ・意欲がわくような題材を用意する ・興味がもてるように教具を工夫する ・単調にならないように工夫をする 		△			
本人に合った学習内容・活動に変える	<ul style="list-style-type: none"> ・問題数を減らす ・解けそうな問題に変える ・本人と相談し解く問題を決める ・板書を写すだけでもよいこととする 					
学習環境に配慮する	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物の量を制限する ・ついたてを用意する ・周りに座る子に配慮する ・目の届きやすい席にする 					
課題や問題が解決できるように道具によって支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒントカードや答えを渡す ・黒板の写真を撮って渡す ・教科書等を読むときに指差しをさせる 					
課題や問題が解決できるように言葉によって支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導の際に解き方などを教える ・補足説明したり、指示を繰り返したりする ・間違っているところと一緒に考える ・模範となる子を注目するように話す ・解けそうかどうか確認する 					◇

※1 生徒の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある○は効果的、◎は特に効果的であるとされる指導・支援となります。

※2 生徒の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある△は、その様子の生徒に効果が表れにくいとされているため、その指導・支援を行う場合には、慎重に行った方がよいとされる指導・支援です。

※3 全体の欄にある◇は、中学生であればその子の様子に関わらず効果的だとされる指導・支援の内容となります。

※4 効果には個人差等があります。上記の表はあくまで参考資料と捉え、実態に応じた指導・支援を行ってください。

指導・支援の内容	具体的な指導・支援内容の例	他者配慮	理解表現	学習規律	自己制御	全体
本人の行動を褒める	<ul style="list-style-type: none"> できたことや頑張ったことを褒める 立ち歩かなかったことを褒める ノートをしっかり書いたことを褒める 友だちの発言を認めたことを褒める 	○	△	△		◇
その場で 毅然とした態度で指導する	<ul style="list-style-type: none"> 理由を話しながら厳しく注意する 問題となる行動をやめるよう叱る みんなの前で厳しく指導する 不適切な行動をやめるまで指導を続ける 	◎		○		
その場で 諭すように指導する	<ul style="list-style-type: none"> やめる（取り組む）ように声をかける 個別に話を聞きながら諭すように注意する 理由を話しながら諭すように指導する 正しい対応の仕方を丁寧に教える 	◎				◇
別の場で指導する	<ul style="list-style-type: none"> 授業後に指導する 別の場で指導する 休み時間に別室で指導する 事前に、正しい対処の仕方を練習させる 後日、つまずいたところを個別に教える 	○	△			◇
言動が収まるまたは、 しっかり取り組む ことを待つ	<ul style="list-style-type: none"> そのままの状態で様子を見る 私語などを聞き流す 本人の言動に過剰に反応しない 視線などでやめるように合図だけ送る 相槌を打ちながら淡々と授業を進める 	◎			○	
原因や理由を考える	<ul style="list-style-type: none"> つまずきの傾向を考える 行動の理由を尋ねる 観察しながら原因を考える 					◇
他の子に支援や配慮を お願いする	<ul style="list-style-type: none"> 隣の子に教えてあげるよう頼む 困っているときに助けてあげるよう頼む 何かあったら教師に伝えるよう頼む グループ活動の際に配慮するよう頼む 					◇
他の子に注意をお願いする	<ul style="list-style-type: none"> 隣の子にだめなときは注意するよう頼む しっかり活動しないとき注意をお願いする グループ活動で問題があるときは注意させる 		△		○	
本人の判断を大切にする	<ul style="list-style-type: none"> どうしたいか本人に判断を委ねる 行動のセルフチェックをさせる どこまで頑張れるか目標を設定させる 					
他教員との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーターに支援を求める スクールカウンセラーに支援を求める 個別に指導・支援に入ってもらう 				◎	◇

※1 生徒の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある○は効果的、◎は特に効果的であるとされる指導・支援となります。

※2 生徒の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある△は、その様子の生徒に効果が表れにくいとされているため、その指導・支援を行う場合には、慎重に行った方がよいとされる指導・支援です。

※3 全体の欄にある◇は、中学生であればその子の様子に関わらず効果的だとされる指導・支援の内容となります。

※4 効果には個人差等があります。上記の表はあくまで参考資料と捉え、実態に応じた指導・支援を行ってください。

4. 生徒への指導・支援の計画を立て実践する。

【指導・支援の目標設定】 …シートのP1、P2の生徒の様子を参考に目標を設定する。

【指導・支援の計画】 …シートのP3、P4を参考に計画を立てる。

【指導・支援の実践】 …上記の計画をもとに指導・支援を実践し、実践内容を記録する。

5. 生徒への指導・支援を評価し今後に活かす。

【指導・支援の評価・改善】…効果の有無や改善点などをまとめる。